



徳之島観光連盟会員のための情報新聞 Tokunoshima Now

- 10月～12月の主な行事
- 10月 11(日)町民体育祭(3町)
  - 18(日)獅子大会(全島一斉実施・数量別)
  - 30(土)第30回国民文化祭かしま2015(2日)前夜祭(伊予国津波花火大会)
  - 31(土)第30回国民文化祭かしま2015(1日)【島内初・7社と(祝夜)
  - 31(土)第30回国民文化祭かしま2015(1日)【民謡・民舞の祝夜と(祝夜)
  - 31(土)第30回国民文化祭かしま2015(1日)【青年大会 中島村・本郷集落】
  - 11月 1(日)第30回国民文化祭かしま2015(1日)【方言の祝夜と(祝夜)
  - 1(日)第30回国民文化祭かしま2015(1日)【島内初・7社と(祝夜)】
  - 1(日)第41回なまぎ祭り(花火大会)
  - 8(日)みどり祭り2015(花火大会)
  - 中旬 第37回伊仙町歌謡祭(祝夜)
  - 15(日)健康まつり(徳之島総合体育センター)
  - 15(日)第3回徳之島町地区対抗歌謡祭(祝夜)
  - 20(金)福祉スポーツ大会
  - 21(土)ふれあい図書館フェスタ・パークフェスタ
  - 22(日)長寿世界ノーテック大会
  - 22(日)スネスポーツフェスタ(アムネー)文化会館
  - 23(月)天城町農業祭
  - 23(月)伊仙町産業祭
  - 下旬 徳之島町 食と農林漁業の祭典
  - 29(日)徳之島町ジョギング大会
  - 12月 6(日)青少年ふさふさ大会(ジュニア文化祭)
  - 13(日)第26回徳之島マラソン大会
  - 19-20(土日)大島地区サッカー大会
  - 23(土)徳之島合唱祭
- ※内容、日時等が変更になる場合もございます。

徳之島観光連盟・JACが徳之島生と口永良部住民慰問

全島避難が続く口永良部島の住民を励まそうと8月27日 JAC社員と徳之島観光連盟事務局徳之島高校生2名が屋久島の仮設住宅を訪れ、交流を深めました。仮設住宅を訪れたのは徳之島高校の喜多川大地さんと宮村美希さんの二人。宮村さんが島唄を披露しました。そして、高校で作った「豚味噌」の缶詰と「クアバ茶」や特産品の「やわらか黒糖」を住民の皆さんに贈りました。



宮村さん、喜多川さんと黒糖栽培町長

仮設住宅にて島唄を披露する宮村さん

口永良部島で5月29日に爆発的噴火が起きてから間もなく4か月です。島の86世帯・137人全員が屋久島などでいまだに避難生活を続けています。口永良部島の皆様一日も早く日常生活に戻れる日が来ることを願っております。(民法ニュース記事より)

徳之島にきたらココは見ておきたい!



夏休み子ども航空教室開催/主催・観光連盟/協力・JAC

2015年8月26日天城町役場4階ユイの里ホールにて、徳之島観光連盟主催による「夏休み子ども航空教室」が開催された。当日は日本エアコミューター(JAC)の客室乗務員(CA)、パイロット、整備士の三名が講師として来島。島内の小学生約60人が参加。子どもの中には夏休みで帰省中の小学生も参加しており、夏休みの自由研究にしますと元氣よく答えてくれた。パイロットや客室乗務員らの仕事内容や飛行機の仕組みについて、クイズを交えて楽しく学んだ。(南海日日新聞より)



シドニーの女子マラソンの金メダリスト「高橋尚子」は、彼女はトレーニングの場としてこの徳之島を選び、徳之島の道を走っていたという。そのトレーニングのゆかりを記念して、設立されている『尚子ロード』記念碑。記念碑の中には高橋尚子の現役時代の勇士の写真と、初マラソンから引退までの記録が刻まれている。

徳之島の島唄は、面白!

徳之島民謡傑作集 ワイド

【一部解説】  
「トントン」はハワフルで、爽いのだ。  
「前原口唄」は、260年前の英語をモデルにしたもの。牛好き、闘牛好きの男たちのたぎる情熱が今に残る。この島なくしてワイド即の大ブレイクもなかったら、ここは、文化の生まれる土壌である。  
(CD紹介文章より)セントラル楽譜社(中引用)

収録内容  
01) ワイホ輝  
02) 龍津晴花  
03) ちんぷ  
04) 龍蝦いしめトンド餅  
05) 三宮綾  
06) 花巻の秋節  
07) ちんぷ  
08) 全島口唄  
09) 子守唄  
10) 島式(七月)  
11) 井之川夏目唄  
12) 上ノ上原唄(ちんぷ)  
13) 龍之島一切節  
14) 島かんちみ  
15) 田越え唄  
16) 井之川夏目唄  
17) ちんぷ  
18) 前原口唄

徳之島も候補地になっている「世界自然遺産」とは?

人類共通のかけがえのない財産として将来の世代に引き継いでいくべき宝物、それが世界遺産です。世界遺産には、文化遺産と自然遺産があり、自然遺産に登録されるためには4つの評価基準「地形・地質」「生態系」「自然景観」「生物多様性」のいずれかを満たす必要があります。



島キャン生44名が徳之島を体感!!

観光連盟が受け入れた夏の島キャンも終わりました。今夏は44名の学生が徳之島を学び、食べ、遊び人生の糧となる「何か」をつけて帰っていきました。期間中の8月12日は伊仙町大久保町長と、9月13日は観光連盟浜口会長とのそれぞれ



語会を開催。学生らは若者の視点から、観光振興に向けた島の魅力や地域活性化策などを提案してくれました。

ゆるい島のスローライフ

著者 倉丸弘美

本当のスローフード、スローライフとは何か? 東京から過か南の島、徳之島へ引越した著者一家が、島で知った「本当の贅沢」とは、食環境ジャーナリストが鋭い観察力で島の魅力を綴るノンフィクションエッセイ。また、本書は今年6月下旬からあたりに電子書籍化され、第10回「ライターズネットワーク大賞」を受賞しています。

著者 倉丸弘美! 95年佐賀県藤津市生まれ。食環境ジャーナリスト、ライターズネットワーク相談役、日本ベジタリアン協会理事、オガジボニカブ代表

徳之島町 民謡・民舞

日本ならではの自然や風土、四季や歴史の中から生まれ、現在も私たちの生活に豊かな潤いを与えてくれる民謡・民舞。長寿・子宝・開港の島である徳之島を舞台に、その魅力を全国に発信し、更なる民謡・民舞の発展に寄与する大会を目指します。

かごしま国民文化祭2015 徳之島3町はそれぞれこんなテーマです!!

天城町 方言(島口)  
近年、衰えつつある方言は地域に伝わる独自の文化であり、地域の宝でもあります。この方言をテーマとした様々なイベントを通して方言の素晴らしさを、その魅力を全国へ発信し、未来の子どもたちへと継承します。

伊仙町 闘牛  
徳之島に古くから伝わる闘牛文化に焦点を当て、文化としての闘牛に対する理解を深めるとともに、闘牛文化の魅力を全国に広く発信します。

観光連盟会員の皆様へ 空港電飾掲示板広告募集

資格 徳之島観光連盟会員  
サイズ 縦25.5cm 横30cm  
広告費 40,000/年間  
期間 2015年9月～  
連絡 徳之島観光連盟 0997-81-2010

枠数に限りがあります。15枠になり次第受付を締め切らせて頂きます。ご希望の方はお早めに、連盟までお電話下さい。事務局